

献 辞

文田哲雄教授は昭和43年に本学に赴任されて、本年3月に定年後退職に成りました。31年もの間本学で、「生活デザイン学」とその実習、「色彩学」、「生活造形史」、「卒業研究」の授業を担当され、画家特有の鋭い色彩・造形の感覚から学生を指導していただき、多くの美的感覚を備えた学生を社会に送り出しました。

また、先生は忙しい教育と大学運営の合間を縫って多くの絵画を制作され、その作品は鹿児島県教育委員会賞、鹿児島県知事賞、南日本美術展記念大賞を受賞されました。また、昭和36年から平成10年まで連続して二科展に作品を出展され、昭和43年の作品「花（少女）」では、パリ留学賞を獲得され、翌年念願のパリ留学を果たされました。更に二科会、その他の美術展の審査委員をつとめておられます。

先生は本学の教育だけでなく、鹿児島女子短期大学、鹿児島短期大学でも非常勤講師として「デザイン」、「被服美学」、「西洋美術史」の授業を担当され、生涯教育の分野でも県民大学講師として、川内高校、大島高校で「西洋美術史における女性像」について講義をなさいました。このように、本学というよりは、本学以外でのお仕事が多く、美術の分野では鹿児島におけるリーダーとして制作と指導及び厳しい評価にわたって活躍をされてきました。

定年御退職後は、さらに社会でのご活躍が期待されておりますので、ご健康に注意されて、後輩をご指導頂きますよう期待しております。

1999年6月 学長 田川日出夫